

NEWS CLIP & AV MATERIAL

● ニュースクリップ&映像教材



■平成21年度教育設備の整備に関する要望書

平成20年3月に新しい指導要領が公示されたことを受け、「新学習指導要領の円滑な実施のための教材整備事業」の完全実施をめざし、(社)日本教育工学振興会、(社)日本教材備品協会、(財)日本視聴覚教育協会、日本視聴覚教具連合会、(社)日本理科教育振興協会、全日本学校教材教具共同組合、教育情報化推進協議会では、平成20年11月18日に、塩谷文部科学大臣へ要望書を提出した。

NEWS CLIP

協会情報

■ 第7回全国子ども科学映像祭73作品が応募

(財)日本視聴覚教育協会、(財)ニューテクノロジー振興財団、(財)つくば科学万博記念財団主催の子どもたちによる科学映像作品コンクールへの応募は73作品(小学校部門33作品、中学校部門40作品)であった。なお、本コンクールの表彰式・上映会は下記のとおり行われる予定である。

〈日時〉平成21年1月11日(日)10:00開場、10:30~上映会、11:00~表彰式・講演会

〈会場〉日本科学未来館(東京都江東区青海2-41)

〈内容〉小学校部門・中学校部門の入賞作品上映、表彰式、講演会 牟田俊大氏(NHK山岳・潜水カメラマン)。

〈問い合わせ先〉(財)日本視聴覚教育協会
TEL 03-3591-2186

AV情報

■ パナソニック教育財団「第35回実践研究助成」

募集開始

(財)パナソニック教育財団では、さまざまな視聴覚メディア・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的研究に対して、助成を行う。

〈内容〉○一般(1年間助成)研究テーマは自由。
○特別研究指定校(2年間の研究)には、①確かな学力の育成に向けたICTの活用、②人間力の育成のためのカリキュラム開発の2つのテーマを設定。

〈応募資格〉小・中学校、特別支援学校、教育研究グループ、教育センター、教育研究所等。応募の詳細は<http://www.pef.or.jp>を参照。

〈助成金額・件数〉○一般 助成金50万円×70件
○特別研究指定校 150万円×4件

〈研究成果〉成果報告書提出と成果報告のほか、特別研究指定校は、ホームページによる情報発信、財団が指名する審査委員による訪問指導がある。

〈応募締め切り・結果発表〉平成21年1月31日(土)消印有効。同年3月10日(火)応募者全員に通知。

〈問い合わせ先〉(財)パナソニック教育財団
TEL 03-5521-6100

▶ブックレビュー



「学力問題のウソ —なぜ日本の学力は低いのか—」

小笠原喜康著
PHP研究所 新書判
2008年9月刊 234頁
903円(税込)

1998年末の学習指導要領改訂の直後から激しく行われた学力低下論争がひとまずおさまり、本年3月の新学習指導要領の告示で、教育界は新たな局面を迎えようとしている。しかし、本書は、あらためて、学力とは、評価とは、知識とは、学習とは、を根本から問い直そうという試みである。

著者によると、いわゆる「ゆとり教育派」も「基礎学力派」も含めて、世の中に広まっている「誤解」があるという。たとえば、学力は数量的に客観的に評価できるという誤解、その背景に、学力が1個2個と数えられる知識の集合から成っているという誤解がある。ここで、筆者が依って立つのは、1980年代から90年代初期に我が国でも広く紹介されたレイヴとウェンガーの状況的学習論である。つまり、

学習とは文化的共同体におけるふるまいの獲得とアイデンティティ形成とする考え方である。

読者は、筆者のつぎつける問いに対して、自分なりの答えを考えては、筆者のそれと対比させていくとよいだろう。もちろん、筆者に全面降伏する必要はないし、まっこうから反発する必要もない。まさに、筆者と対論するつもりで、「クリティカル」に読んでいくうちに、自分なりの学力論が深まっていけば、大きな収穫になる。本書は、自分自身の学力論を自覚し、深めていくための議論の相手と思えばよい。

ただし、状況的学習論は、学校知批判ともあいまって、確かに大きな刺激を与えたが、結局のところ、学校現場や教育行政を動かす力はなかった。しかも、「学力低下論」という、本来なら格好の論敵がその後現れたのに、論争にはほとんど参戦しなかった。今はもう、「ゆとり対基礎学力」という振り子が単純に繰り返されている時代ではなくなっている。状況的学習論は現実に即した、説得力のある教育実践のモデルを示さない限り、歴史的なトピックに留まらざるをえなくなるだろう。それは、状況的学習論のほうがつきつけられている「問い」でもある。こうした問いかけをしながら本書や関連図書を読んでいくのも、一つの味わい方だろう。

(東京大学大学院教授 市川伸一)

■「映文連アワード2008表彰式」「第11回日本と世界の優秀企業映像を見る会」

(社)映像文化製作者連盟では、標記表彰式と上映会を下記の通り、開催する。

〈日時〉平成20年12月11日(木) 10:00~16:00
(開場9:45)

〈会場〉時事通信ホール(東京都中央区銀座5-15-8)

〈内容〉最優秀作品賞(グランプリ)受賞作品ほか2作品の一部を上映。海外の優れた企業映像を紹介。

〈参加費〉表彰式は、事前登録により無料だが、「日本と世界の優秀企業映像を見る会」参加費5,000円が必要。

〈問い合わせ先〉(社)映像文化製作者連盟
TEL03-3279-0236

の日2008」併催)

(独)国立科学博物館は、学校と博物館との効果的な連携の仕組みについて、調査研究の標記報告会を下記の通り行う。当日、教員は常設展の入館料が無料となる。

〈日程〉平成20年12月26日(金) 10:00~13:00。
なお、「教員のための博物館の日2008」は9:00~20:00まで。

〈会場〉日本学士院総会議場(東京都台東区上野公園7-32国立科学博物館隣)、国立科学博物館

〈対象〉教育・博物館関係者等。

〈内容〉講演「豊かな未来を創る理科教育への期待」有馬朗人氏(元文部大臣)、研究、事例報告、まとめ・清原洋一氏(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)。「教員のための博物館の日2008」では、さまざまな体験プログラムを用意している。

〈参加費〉無料(事前予約の必要あり)。

〈定員〉先着200名。

〈申し込み方法〉FAXもしくはメール。詳細は、<http://museum4teachers.zkh.jp/>を参照。

〈問い合わせ先〉国立科学博物館展示・学習部学

研究会情報

■「科学的体験学習の創造 —学校と博物館の効果的な連携を目指して—」(「教員のための博物館

習課リエゾン担当
FAX03-5814-9898
MAIL museumforteachers@kahaku.go.jp

各地の情報

■ 別府大学企画・開発によるDVD教材「深め発見する喜び—教員の指導力を拓く調べ学習—」

平成19年度独立行政法人教員研修センター委嘱事業「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」として、別府大学では大分県教育委員会と

連携・協議し、その成果を標記DVD（118分）にまとめ、大分県下小中高等学校、全国の教育センター等へ配布した。児童・生徒と教員の調べ学習の取り組みを映像で記録・分析し、各段階における具体的な支援方法を明示し、指導者のための「調べ学習」研修教材となっている。構成は、調べ学習の進め方、調べ学習Q&A、教員の指導力向上への新たな挑戦など。調べ学習Q&Aは自校の実践を見つめなおす、よすがとなる。教材視聴希望者は下記まで。

〈問い合わせ先〉 別府大学 佐藤允昭研究室
TEL0977-66-9635

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

■10月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD
「ご縁玉 パリから大分へ (GOENDAMA)」〔D〕139分 〈少年・青年・成人、教養〉(株)パンドラ
「奪われた命—交通事故、余りに重い代償—」〔ビ〕26分 〈青年・成人、地域社会生活(交通安全・防犯)〉新生映画(株)
「管路管理のゼロ災に向けて」〔D〕41分 〈青年・成人、職業生活一般(職場生活の健康、安全)〉(社)日本下水道管路管理業協会

〈放送についての問い合わせ〉

(財)民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

- 32回 6日「生かされてるから活かすんだ」 (朝日放送)
- 33回 13日「わたしにできること—車いす看護師のチャレンジ—」 (山梨放送)
- 34回 20日「マロさんのリズム道場」 (信越放送)
- 35回 27日「海の生き物の素顔を伝えたい」 (北海道放送)

エル・ネット

今後予定している主な新着コンテンツは、下記の通り (<http://www.elnet.go.jp>)。

[各機関の取り組みから]

- 国立国会図書館データベースフォーラム (国立国会図書館)
 - 東海大学海洋学部シンポジウム「潜水調査船が観た深海生物」「シーラカンス生息地における生態調査」「東京湾にサメがいる」「イルカの日」他 (学校法人東海大学)
 - [こどもコンテンツ]
 - 「あびるほどの自然体験を なすかしの森セカンドスクール」
 - 「わたしたちのまちをドキュメント 福井県高浜子ども放送局」
 - 「サムライ気分エコチャンバラ」
 - 「少年少女社会体験記 子どもの主体性を育む中学生まちづくりワークショップ」
- ((独)国立青少年教育振興機構制作)

放送番組・web配信

中学生日記

(土) 19:15~19:44 / NHK教育
翌週 (土) 14:00~14:29 / 再放送 NHK教育
※都合により番組内容が変更となる場合があります。

- 6日 中学生日記ブレーバック「恋して短歌」(仮)
- 13日「プロフ友達」
- 20日「ぶっちゃけトークスペシャル『受験直前!! 3年生の悩みに答えます』」
- 27日 冬のアンコール (内容未定)

発見! 人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。